

第 27 回東京免疫フォーラム

The 27th Molecular Immunology Forum Tokyo

日時：2017年3月27日(火) 13:00~18:30

場所：東京大学医科学研究所・1号館講堂

東京都港区白金台4-6-1 <東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線“白金台駅”下車、徒歩5分>

《 開会挨拶 》 烏山 一 (東京医科歯科大学) 13:00-13:05

Session 1 常在細菌叢と炎症

座長：渋谷 彰 (筑波大学)

中川 誠太郎 (千葉大学) 13:05-13:25

「黄色ブドウ球菌由来 PSMa はケラチノサイトからのアラミン放出を介して IL-17 依存性の皮膚炎を起こす」

新 幸二 (慶應義塾大学) 13:25-13:45

「口腔由来クレブシエラ菌の腸内定着と炎症誘導」

Session 2 免疫機能と臓器障害

座長：小安 重夫 (理化学研究所)

藤生 克仁 (東京大学) 13:45-14:05

「組織マクロファージの活性化を介した心臓恒常性維持機構」

七田 崇 (東京都医学総合研究所) 14:05-14:25

「Mafk-MSR1 経路による DAMPs の排除と無菌的炎症の収束」

宮島 倫生 (理化学研究所) 14:25-14:45

「PD-1 欠損マウスにおける T 細胞活性化に起因するメタボロームシフトを介した情動行動変化」

< 休憩 15分 >

Session 3 マスト細胞の活性化と機能

座長：中島 裕史 (千葉大学)

下川 周子 (群馬大学) 15:00-15:20

「肥満細胞による新しい寄生虫感染防御メカニズム」

嶋中 雄太 (東京大学) 15:20-15:40

「エボキシ化 ω 3 脂肪酸は IgE 依存的なマスト細胞の活性化を制御するオートクリンメディエーターである」

Session 4 公募演題

座長：高木 智 (国立国際医療研究センター)

柴田 翔 (東京医科歯科大学) 15:40-15:55

「非アレルギー疾患である慢性閉塞性肺疾患(COPD)の発症に好塩基球が重要な役割を果たしている」

孫 琳 (国立感染症研究所・筑波大学) 15:55-16:10

「抗体レパトア構築における代替軽鎖の役割に関する研究」

室 龍之介 (東京大学) 16:10-16:25

「炎症性 $\gamma\delta$ T 細胞の分化を制御する Syk 依存的 TCR シグナル」

< 休憩 15分 >

特別講演 1

座長：吉村 昭彦 (慶應義塾大学)

松島 綱治 (東京大学) 16:40-17:25

「新たながんの複合免疫療法を目指した私たちの取り組み」

< 休憩 15分 >

特別講演 2

座長：三宅 健介 (東京大学)

清野 宏 (東京大学) 17:40-18:25

「粘膜免疫：共生と排除、そしてワクチンへ」

《 閉会挨拶 》 烏山 一 (東京医科歯科大学) 18:25-18:30

< 懇談会 (演題終了後 於 医科研生協・白金ホール) >

フォーラムへの参加費は無料、懇談会参加費は二千元(学生無料)です。事前登録の必要はありません。